

第1回懇談会における主な意見等の整理

項目	主 な 意 見 等
地域コミュニティが活性化した状態	<p>地域コミュニティが活性化している状態のイメージが湧かない。</p> <p>町会・自治会に入る入らないに係わらず、その地域の人々がそれなりのつながりを維持し、必要なことをやり、何かあった時にはまとまれる要件がある状態で良い。</p> <p>地域ごとに活性化のイメージが違って良い。</p> <p style="padding-left: 2em;">伝統がある町会の地域では、そこに住んでいる人々に地域の伝統を理解してもらい、できる限り町会に入ってもらい活性化を図る。また、別の地域では、普段は特に地域の団体には属さないが、最低限のつながりを持っていて、何かあった場合に町会と協力し、区とも連絡が取れる状態になっているということが良い。</p> <p>70年代、80年代の非常に活発だったコミュニティをそのまま取り戻すことはできないと思う。</p>
地域意識 住民の	<p>向こう三軒両隣という意識が薄い。</p> <p>組織に馴染まず、個人や家族といった単位だけでという生き方があまりにも強くなってしまって、支え合うとか、関わり合うとか、会話を出す、つなぐ、関係性をもっていくということに煩わしさを感じる人が多くなった。</p>
地域活動団体の状況	<p>地縁団体（町会・自治会等）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>新しく転居してきた方が町会・自治会に入らない。</p> <p>町会・自治会の高齢化が進んでいる。若い人達に入ってもらいたい。</p> <p>区からの支援がなければ町会・自治会の運営が難しい。</p> <p>町会新聞を1か月おきに作り、ホームページでもPRしているが、加入につなげるのは難しい。</p> <p>東日本大震災以降、町会へ加入したいという話がきている。</p> <p>町会・自治会に入りたいと思わない。入りたくなるような団体になったら良いなと思う。集合住宅内でのつながりはある。</p> <p>町会や老人会は入ってもらって良さを分かっていたくことも大切である。</p> <p>町会・自治会ばかりに頼るのも限度がある。町会・自治会は、防犯・防火・防災の活動をしっかりやっている。全てを町会・自治会に押し付けても無理である。</p> </div> <p>テーマ別活動団体（NPO・ボランティア団体等）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>時代に即した活動をしているのはテーマ別活動の団体ではないか。</p> </div>
きつかけ 活動への参加の	<p>地区祭や盆踊りには多くの方が来るが、一時的なものである。</p> <p>古紙回収には、町会・自治会未加入者も協力してくれる。</p> <p>防災キャンプは若いお父さん達を中心になってやってくれている。町会の重鎮達にも声をかけ、終了後に反省会と称して一杯やる。そうやって顔が繋がっていく。行事を通じて人と人とのつながりを広げていけば良い。</p>

<p>育成 地域活動の担い手、コーディネーターの</p>	<p>高齢者の方はエネルギーを持っている。 60歳から地域に出ようと考えているならば、55歳ぐらいから助走を始めた方が良いと言っている。 特定の団体だけではなく、色々な団体が一緒に活動することが大切ではないか。そうした団体をコーディネートする人々を育てることも大切である。 地域の中で、様々な活動を積む中でコーディネート能力が培われる。 テーマ別活動の団体と町会・自治会や民生委員、地区区民館などを結びつけてくれる コーディネートしてくれる 人材が必要であり、区にたくさんの人材を育ててもらいたい。</p>
<p>役割 地域施設の</p>	<p>地区区民館はいくつかの町会・自治会の範囲をカバーしており、館が核となって地域の活性化を図っていかねばならないのではないかと考えている。</p>
<p>懇談会の進め方等</p>	<p>そもそもコミュニティが必要か、個人の幸せ感といったことも並行して議論をしていかないと見えてこないものもあるのではないかと考えている。 議論の深め方と最終形態のあり方を明確にしてから議論すれば、今後の各回の議論もかみ合ってくるのではないかと考えている。 年齢ごと、テーマごとにマトリックスを作ることも一つではないかと思う。</p>